

# 道路舗装工事システム PAVE Ver7.2

## PAVE I 舗装図面作成システム

### 舗装展開図

- 入力補助機能を使うことで、測点名や単距離を自動発生させることができるので入力にかかる時間が軽減できます。
- 幅員並びに単距離の実測値と設計値の入力が同一画面上で行えます。
- 連動機能を使うことで、計11種の丸め設定から選択した丸めで、実測値入力により設計値を自動算出します。
- 中央分離帯や付属帯の入力が可能です。
- 実測値と設計値を基にした展開図が同一図面上に作画できます。
- マンホールなど面積の控除ができます。
- 計算書類はExcel出力することができます。

展開図(車道)入力画面

展開図(付属帯)入力画面

基本設定画面

入力補助画面

### ヘロン

- 入力補助機能を使うことで、符号部分を自動発生させることができるので入力にかかる時間が軽減できます。
- 入力ミスにより回転(入力)方向を間違えた場合でも、辺入替機能を使うことで再入力する必要がありません。
- 実測値と設計値の入力が同一画面上で行えます。
- 連動機能を使うことで、計11種の丸め設定から選択した丸めで、実測値入力により設計値を自動算出します。
- マンホールなど面積の控除ができます。
- 計算書類はExcel出力することができます。

ヘロン入力画面

基本設定画面

入力補助画面

# PAVE II 切削オーバーレイシステム

- 入力補助機能を使うことで、測点名や単距離を自動発生させることができるので入力にかかる時間が軽減できます。
- 縦断距離及び横断ポイントの距離入力を累計距離で入力することができます。
- 表層・基層にわたる複数層の処理を一括して行うことができます。
- 切削厚、オーバーレイ厚を各横断面毎に指定することができます。
- 中央分離帯、構造物(CAD上)が設定できるので、現場の状況を再現できます。
- 実測値や計画値などの名称を自由に変更することができます。
- CLと両端部位置の縦断シミュレーションができます。
- 切削値、計画値が自由に変更できるので、どんな現場にも対応します。
- 横断データ入力画面の特異点機能を使うことで、端部の摺り付けなどの処理がクリックのみで行えます。
- 横断図のDL値は各横断面毎に変更できるほか、一括設定することができます。
- 総計表示画面で実測と計画の路面概要(勾配・幅員など)を確認することができます。
- 測点名、距離、幅員データを舗装展開図へコピーすることができます。
- 計算書類はExcel出力することができます。

切削オーバーレイシステムの  
流れ

タイトル入力・入力方法指定

縦断測点入力

実測値・横断距離入力

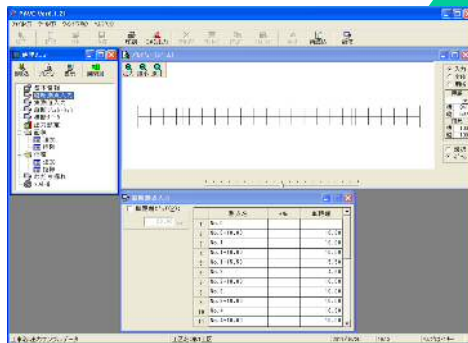
縦横断シミュレーション

計画値・切削値修正

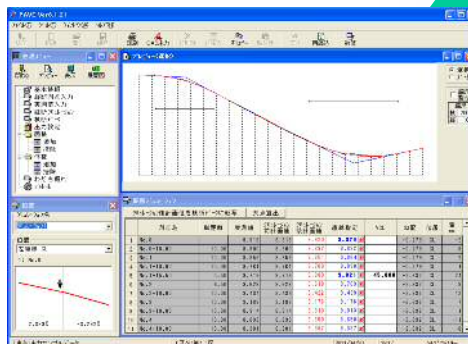
縦断図・横断図出力

<<出力書類>>

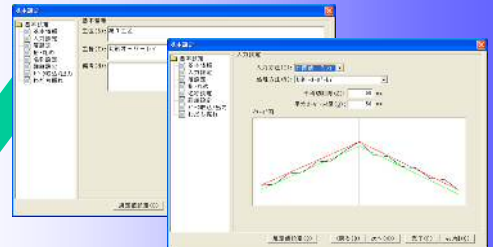
- 面積計算書 ●体積計算書
- 測点データ表 ●明細書
- 厚さ一覧表(切削厚・レベリング厚・オーバーレイ厚)



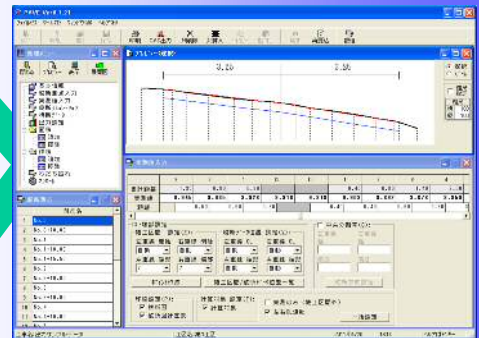
②縦断測点入力画面  
縦断測点の入力を行います。  
測点間隔のイメージを見ながらデータを入力することができます。



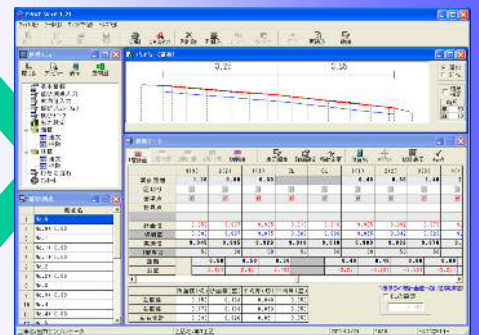
④縦横断シミュレーション画面  
直線指定やバチカル指定を行い縦断計画をシミュレーションします。  
左右のセンターと端部ごとにそれぞれ9個のデータを登録できます。  
シミュレーション終了後、計算した計画値データを横断データに転送します。



①基本設定画面  
工区・工種の名称や切削オーバーレイ・レベリング等の入力切替え、端部処理指定を行います。

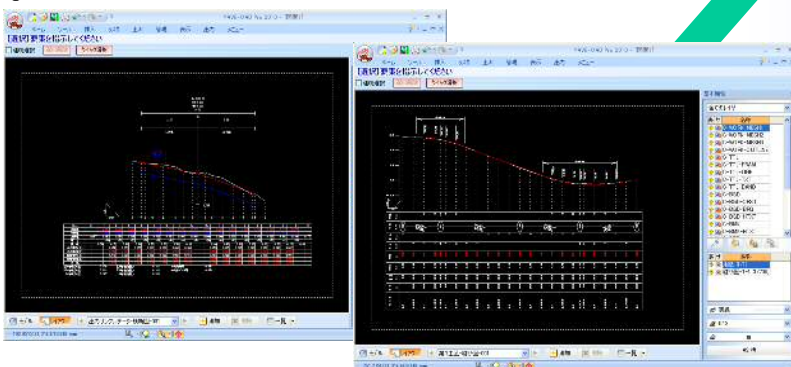


③実測値入力画面  
実測値、横断距離の入力を行います。  
中央分離帯の入力や車線の端部指定を行うことができます。



⑤横断データ画面  
計画値や切削値の修正を行います。  
車線区切りや摺り付け指定を行います。

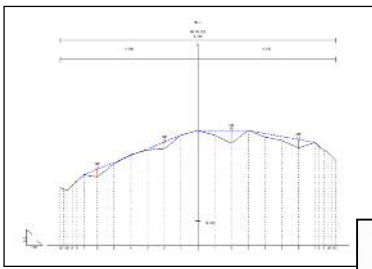
●PAVE-CAD Pro



⑥縦断図・横断図出力  
PAVE-CAD Proより縦断図・横断図を出力します。  
横断図はA1～A4までの出力が可能で16個のレイアウトを用意しています。  
予め作成しておいた構造物を横断図に取付けることができます。



## 舗装路面のわだち掘れ算出システム (PAVE II オプション)



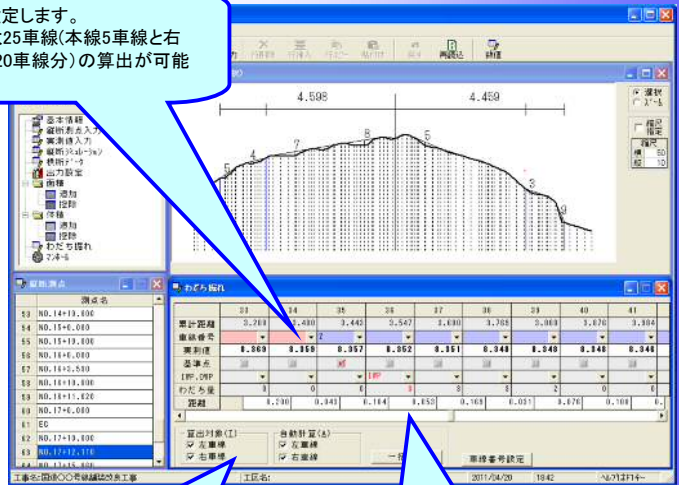
▲ わだち掘れ横断面

### <<出力書類>>

- ・データシート
  - 舗装路面のわだち掘れ量測定 (舗装試験法便覧) 準拠
- ・わだち掘れ横断面図
  - ⇒ A4 ~ 任意サイズ (最大16横断/1シート)

▲ データシート

車線情報を設定します。左右毎に最大25車線(本線5車線と右折レーンなど20車線分)の算出が可能です。

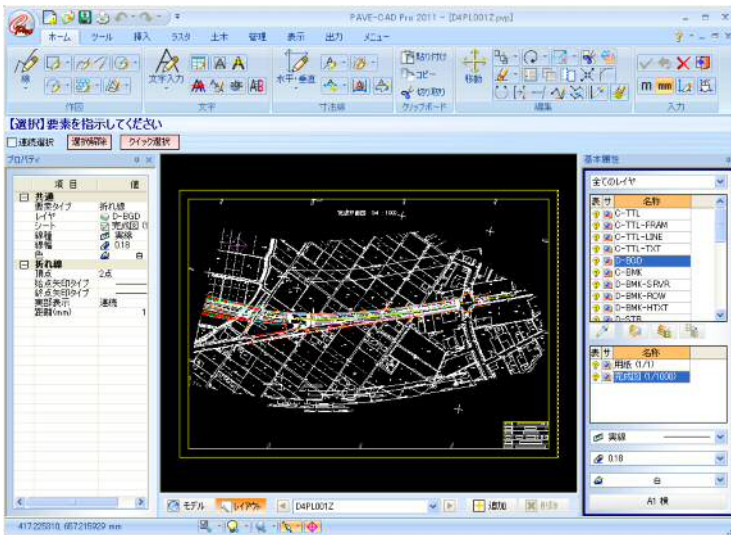


任意の横断面ポイントに基準点、「IWP」「OWP」を設定できます。

システムでわだち掘れ量の自動計算を行います。

## PAVE-CAD Pro OCF検定認証CADソフト

- コマンドバーは、オフィスライクな操作体系を採用しています。
- 作図要素の環境が瞬時にわかるよう画面右側にレイヤ等の基本属性ウィンドウを、画面左側には要素のプロパティウィンドウを採用しています。
- 実寸で作図を行う「モデル」画面とそれを用紙に割り付けて製図する「レイアウト」画面を持ち合わせております。
- 要素を選択すると関連するコマンドを自動表示する拡張グリップを採用しています。
- SCADEC SXFフォーマット(SFC・P21)に完全対応した互換性を持っています。
- 他のOCF検定「CC3」合格CADと完全な互換性を持っています。



### ・最新リボンスタイルの採用



### ホームリボン



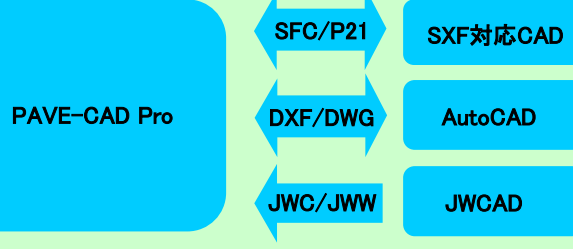
### ツールリボン



### ・拡張グリップ



### データ互換イメージ



### ・ズーム機能

両ボタンドラッグによるJW\_CADライクなズーム機能

### ・属性付与機能

属性情報のない寸法線・引出線を自動認識して属性付与

### ・その他

- クロソイド曲線作成/旗上げ機能
- 縦横異縮尺/測量座標系/座標設定
- 朱書き-発注図作図機能(工区割り等)

# PAVE-ROPO 道路縦横断計測設計システム 特許 第4059832

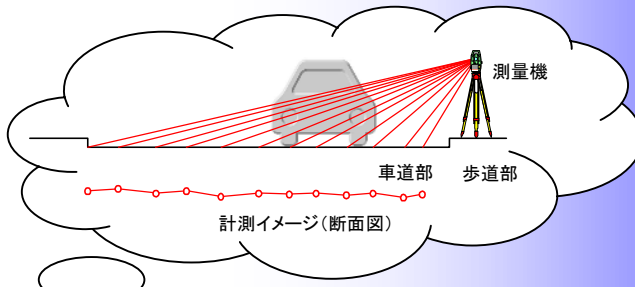
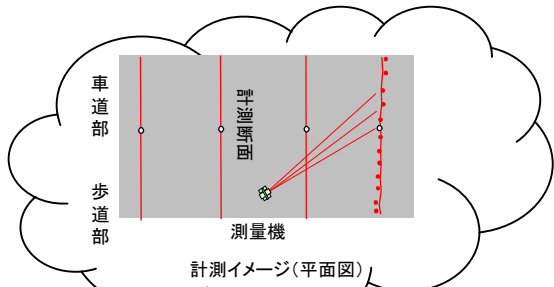
車線規制せずに道路の縦横断計測が可能に！！  
歩道や路肩から安全に計測できる路面測量システムです。

●車線規制せずに安全に、且つ簡単に計測することができます。

計測作業はこれまでのように車線規制をする必要はありません。  
路肩や歩道から計測するので、安全に作業ができます。  
大掛かりな事前準備は必要ありません。

●計測にかかるコストを大幅に削減することができます。

一般に使用されている計測機(トータルステーション)を使用するので、その他計測にも有効利用でき無駄がありません。  
計測は1名ないし2名で作業ができます。(高速道路での計測の場合は、別途誘導員等が必要です)  
計測作業は昼夜を問いません。(但し、路面が濡れている場合は計測することができません)



計測中、自動車や歩行者が通過しても結果に影響ありません。  
路面以外のデータが得られた時は、自動で再計測を行います。

▼計測中画面

ROPO 変化点計測 15:06

測点名: 000  
追加距離: 0.000 m  
基準高さ: 0.000 m

B/M測距 機橋高: 0.000 m

左 中央 右

戻る 横断へ 設定 測距

ROPO 横断計測 17:34

横断計測 計測データ  
No.0 62x 24/39 あと約75s

再計測  
その場で再測  
あとで再測

終了 設定 停止 開始

ROPO テーブル観測 17:38

測点名: No.0

測点	距離(m)	高さ(m)
18	-0.583	52.827
19	-0.351	52.836
20	-0.184	52.838
21	0.000	52.836
22	0.207	52.830
23	0.405	52.823
24	0.598	52.815
25	0.796	52.807
26	1.196	52.793
27	1.398	52.787

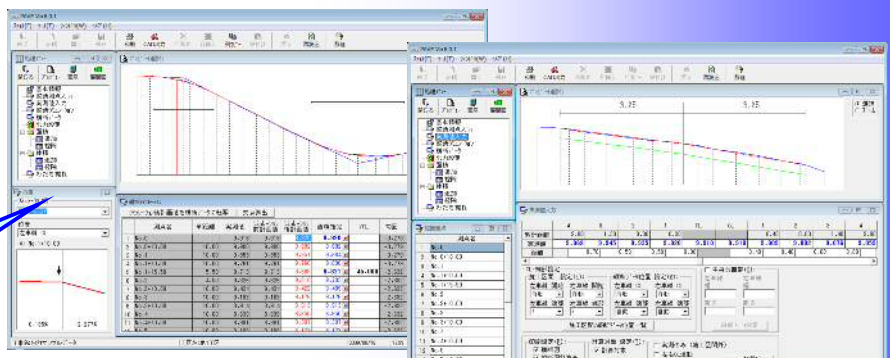
未計測へ変更 再測 戻る

計測処理はPADコントローラーを使用して行うので、トータルステーションの操作は不要です(水平設置調整は除く)。



データはSDカードで手軽に受け渡せます。

### ▲ROPOによる計測



計測データをPAVEシステムで取込むだけなので、入力ミスの心配はありません。

### ▲PAVEによる縦横断設計

## ◎PAVEシステム動作環境

- OS Windows7、Windows8、Windows10
- CPU Intel Core i3 以上
- メモリ 2GB以上(推奨4GB)
- ディスク空き容量 500MB以上
- モニタ解像度 1024×768以上 High Color
- ブラウザ Microsoft Internet Explorer Ver11以上

Microsoft,Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。